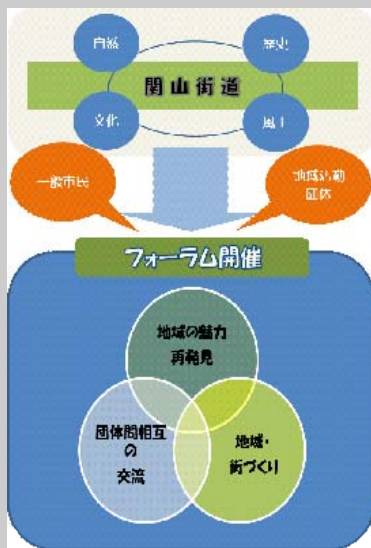


関山街道フォーラム協議会とは……

関山街道フォーラム協議会は、関山街道沿線で活動している市民活動団体・企業・行政等が、地域の自然、歴史、文化、風土等の豊かな資源を掘り起こし、活用しながら地域活性化を目指している団体です。

平成23年12月に「関山街道フォーラム実行委員会」が発足し、平成24年5月に「関山街道フォーラム」を開催しました。その後、団体間の緩やかなネットワークを築きながら、新たな地域起こしとして「土の道部会」を立ち上げ、マップ作成や探訪会等の事業、また関山街道と並行して走る仙山線に焦点をあてた事業開催のため「鉄の道部会」を立ち上げ取り組んでいます。

平成24年12月8日に「関山街道フォーラム協議会」として名称を改め、地域の魅力を発信していくことを目標に活動をしています。



オブザーバー

宮城県震災復興・企画部
震災復興政策課
仙台河川国道事務所
仙台西国道維持出張所

参加団体

作並振興協会
作並温泉旅館組合
みやぎ建設総合センター
八幡地区まちづくり協議会
広瀬川市民会議
仙台西国VSP連絡協議会
定義観光協会
ニッカウキスキー(株)仙台工場
大倉ふるさとセンター
宮城地区郷土史探訪会
愛子の郷交流会
ひろせの底力
みやぎ西探訪会
里山を歩く会
仙台・作並回文の里づくり実行委員会
土木学会東北支部
みやぎ街道交流会
みちのく鉄道応援団
仙台市宮城総合支所
仙台市広瀬市民センター

ホームページ作成中！「関山街道フォーラム協議会」の

活動一挙公開。参加団体の情報も満載です。2月中ごろ稼働予定。

イベントのお知らせ



「仙山線の魅力と遺産を語る」

昭和32年、仙山線で日本初の交流電化による営業運転が始まりました。交流電化に関わる試験が仙山線で行われ、その技術は現在の新幹線技術の基になっています。

交流電化に関わる話や仙山線の魅力を地域の方が語ります。また東北福祉大学鉄道交流ステーションの仙山線関係の資料や地域の方々による写真のパネル展示を行います。

●日時：平成25年1/20(日) 13:30～15:30

●内容

第1部 講話「仙山線物語」発行の経緯について

講師 相沢 良雄氏

第2部 地域在住の元国鉄職員による座談会

脇坂 義之氏 戸内 信也氏 伊藤 正男氏

●対象：どなたでも ●参加費：入場無料／事前申込不要

●会場及び問合せ先 仙台市広瀬市民センター

〒989-3125 仙台市青葉区下愛子字観音堂5

TEL 022-392-8405 Fax 022-392-8410

パネル展（同時開催）

1/18(金)～ 9:00～21:00 月曜日休館

2/3(日) 最終日は15:00まで

発行：関山街道フォーラム協議会

事務局 みやぎ街道交流会内

TEL:022-722-3380 FAX:022-722-3381

E-mail:miyagi-kaidou@auone.jp

お問い合わせは…広瀬市民センターまで

TEL：022-392-8405 FAX:022-392-8410

2013/1/20 発行

ニュースレター 創刊号



(社)東北建設協会「みちのく国づくり支援事業」
仙台市青葉区まちづくり活動助成事業

巻頭言

街道をとおして歴史を再発見

平川 新

関山街道フォーラム協議会委員長



東北大学災害科学国際研究所
所長
専門は江戸時代史・歴史資料
保存学

関山街道を歩いてみると、さまざまな風景や史跡や人々に出会います。街道は歴史の宝庫であり、その地域の生活や文化のありようを現代に伝える語り部のような存在です。

自分の住んでいる地域に愛着をもちたいですね。その手がかりが関山街道にはあります。

関山街道をとおして地域の歴史を再発見し、先人の歩んだ道や先人の姿を偲びませんか。

このたび発足した関山街道フォーラム協議会が地域の歴史を再生させ、地域に活力をもたらす原動力となることを期待しています。

きっかけはこの本からはじまった！



編集:平川 新
発行:社団法人東北建設協会

「関山街道」とは、仙台から西に進み奥羽山脈の関山峠を越えて山形県天童に至る道筋のこと（現・国道48号線）。天正年間には明らかなこの道筋の周辺は、今もうれつな勢いで変化している。この現状を憂い「いまのうちに記録に残しておかねば」の思いで再調査・編集されたのがこの本。旧宮城地区の歴史的由来や魅力にあふれた内容は、その後「地域をつなぐ重要な手ばかり」としての役割を得た。関山街道沿線の歴史探訪サークルやまちづくり団体がこの本の出版により、一つの道になろうと八幡から天童まで集結。「ひとの道」ができてくる。

「関山街道フォーラム実行委員会」H23/12/8発足

H24/5/26 「関山街道フォーラム」開催！

「土の道部会」発足へ H24/9

関山街道 全ルートを網羅、ご紹介すべく・・・

「関山街道さんぽマップ～八幡・関山～」作成中！

3 月完成予定

土の道部会、鋭意作成中です。



今年もやります！

『関山隧道&嶺渡り探訪会』4/27(土)開催決定



昨年度のルートと探訪会の様子

関山隧道を背に記念写真

「鉄の道部会」立ち上げへ H24/10

昭和のはじめ、関山街道に沿うように、「鉄の道」仙山線が敷かれた。周辺住民の期待もさることながら、かつてこの路線には重要な使命が課せられた。今、その歴史に再び光をあて、地域の誇りとしてよみがえらせれば・・・
そんな「鉄の道部会」について、加藤部会



加藤 栄一氏
「鉄の道」部会長

「世界に誇る鉄道技術の原点がここにあったことを伝えたい」

関山街道は、まず「土の道」が先にあり、時代が昭和になると街道に沿う形で「鉄の道」仙山線が開通。その約25年後、昭和32年には日本最初の交流電化機関車通っています。当時、日本中から専門技術者が作並に集結し、さまざまな実験、試験運転と成功させていきました。この「交流電化技術」は、後に開通する新幹線の技術へと開花します。仙山線はいわば、日本のあらゆる経済、産業振興に貢献する役割を果たしたのです。このことは、沿線住民にとって誇りであり、もっと自慢してよいこと。「鉄の道部会」は、この地域の誇りを伝え、ともに理解、協力して、次世代につなぐまちづくりを目指しています。

関山街道フォーラムは、地域にどのような役割を果たしていくと思いますか？ またその魅力は？

フォーラムの最も重要な役割の一つは、21世紀に生きていく子どもたちに、自然、歴史、文化的な景観や遺産をいかに継承していくかです。これまで個々のグループが単独で行ってきたものをつなぎ、人と人が助け合い、この地域に対する発案、考え、組織体制、行動が提言された。これはスゴイことです。

ここにそれぞれの専門性の高いアドバイザーが加わり、また、自治体の応援などいただきながら活動を推進中です。これまでにない大きな視点で交流や活動できるのも魅力です。

仙山交流についてひとこと！

今回の交流電化調査をきっかけに、山寺にもある転車台を訪問しました。地域に対する知識があればもっと楽しい交流ができるものです。そのため、仙山をいかにつなぐか、さらに情報発信していきたいと考えています。

新幹線開業の原点が「仙山線にあり！」

なんと



現在も作並駅に残る「交流電化発祥地」の碑と由来の看板。
昭和28年8月交流電化調査委員会発足の翌年には北仙台～作並間の50Hz・20kvの交流設備の工事完了。昭和30年8月に国産交流機関車ED44-1による試験運転開始などが記されている。

ようこそ！関山街道フォーラムへ

Topics

新顧問をお迎えします！

宮原育子先生です



宮城大学事業構想学部 教授

宮城大学地域連携センター 副センター長
河北新報社「仙山カレッジ」座長

旅行会社で勤務ののち、明治大学、東京学芸大学大学院を経て、東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。専門分野は地理学。平成9年から宮城大学事業構想学部に着任。地域資源論や地域交流事業を担当。東北の地域の資源を活かしたまちづくりや観光交流のあり方を産学官連携のプロジェクトを通して研究している。「東北圏広域地方計画の変更に関する有識者懇談会」委員、山形県観光事業審議会委員、みやぎグリーン・ツーリズム推進協議会顧問など。山形県高島町在住。

予告

平成25年4月20日(土)

「仙山交流について」(仮題) 講話予定

どなたでも参加できます。参加費無料。くわしくは、「広瀬市民センターだより」4月号をご覧ください。

なお、同日講話後、25年度総会を開催します。

参加団体・主催・後援・協賛・イベント紹介

【1-3月】

古山拓 [子規の風景『はて知らずの記』をたどる原画展] 1/7~2/6 岩松旅館ロビーにて	岩松旅館 TEL.022(395)2211
広瀬川サケプロジェクト2012 12/1 サケ育て隊(終了) 2/1 フォーラム「広瀬川の魅力づくりと市民活動」 3/中 サケ見送り隊	広瀬市民会議 問い合わせ・申し込み 仙台市河川課 TEL.022(214)8327
定義雪まつり 2/10~11 雪灯籠まつり 2/11 ☆ソリ遊び体験(無料) ☆スノーシュー体験(有料)	大倉四季探検 090(8924)6667(梅華) FAX022(393)2542 info@shikitanen.com

